

# コパノリッキー

34,015票



2015年 フェブラリーS (GI)

## 史上初の連覇を達成した砂の王者

1度目のフェブラリーS制覇は2014年、4歳時のことだった。3歳春に兵庫チャンピオンシップ (JpnII) を圧勝後、骨折で休養。約半年後に復帰してからは凡走が続いており、16頭中16番人気での出走だったが、2番手から抜け出すと1歳上のホッコータルマエの追撃を最後まで抑えて優勝。GI初出走での初制覇を達成して驚かせた。

その後もかしわ記念、JBCクラシックとJpnIを制し、フェブラリーSの勝利がフロックではなかったことを証明して4歳シーズンを終えたコパノリッキー。

5歳を迎えた2015年は新たに武豊騎手とコンビを組み、東海S (GII) の4馬身差圧勝から、連覇のかかったフェブラリーSへと駒を進めた。最低人気だった1年前から一転、出走馬16頭中、堂々の1番人気に推されたコパノリッキーは、まさにディフェンディングチャンピオンらし

い走りを披露した。前年と同様に2番手を追走すると、逃げるアドマイヤロイヤルを直線で交わして抜け出す。好位から追いつがるインカンテーション、グレープブランデー。懸命に迫ろうとするベストウォーリア、ローマンレジェンド。大外からワイドバツハが猛迫する。2着から12着までの11頭が0秒5差以内に収まる後続の大激戦を尻目に、最後までその足どりは衰えず、半馬身差のリードを保ってゴールした。

フェブラリーSの連覇は、それまでアドマイヤドンやヴァーミリアンなど幾多の名馬が挑戦しながら、成功した馬はいなかった。そんな快挙を成し遂げたコパノリッキーは、秋にもJBCクラシックで連覇を達成、2015年のJRA賞最優秀ダートホースに輝いた。

コパノリッキーは翌年もかしわ記念、帝王賞、マイルチャンピオンシップ南部杯を制覇。7歳時にもかしわ記念、マイルチャンピオンシップ南部杯、そしてラストランの東京大賞典を制して引退。ダートGI・JpnIの合計11勝は、いまだ破られない歴代最多勝記録となっている。

### 第32回フェブラリーステークス (GI)

2015年2月22日 東京競馬場 1600m (ダート・左) 曇・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	コパノリッキー	牡5	57	武豊	村山明	1:36.3	①	②②
2	インカンテーション	牡5	57	内田博幸	羽月友彦	1/2	⑤	④③
3	ベストウォーリア	牡5	57	戸崎圭太	石坂正	3/4	③	⑧⑧

### 第31回フェブラリーステークス (GI)

2014年2月23日 東京競馬場 1600m (ダート・左) 晴・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	コパノリッキー	牡4	57	田辺裕信	村山明	1:36.0	⑩	②②
2	ホッコータルマエ	牡5	57	幸英明	西浦勝一	1/2	②	⑤⑤
3	ベルシャザール	牡6	57	C. デムーロ	松田国英	1 3/4	①	⑫⑪

### コパノリッキー Copano Rickey

2010年3月24日生 牡 栗毛

父:ゴールドアリュール 母:コパノニキータ 母の父:ティンバーカントリー  
生産:日高・ヤナガワ牧場 馬主:小林祥晃氏  
通算成績:33戦16勝 (うち地方17戦10勝)

#### 主な勝ち鞍

- 2017年 東京大賞典 (GI)、マイルチャンピオンシップ南部杯 (JpnI)、かしわ記念 (JpnI)
- 2016年 マイルチャンピオンシップ南部杯 (JpnI)、帝王賞 (JpnI)、かしわ記念 (JpnI)
- 2015年 JBCクラシック (JpnI)、フェブラリーS (GI)、東海テレビ杯東海S (GII)
- 2014年 JBCクラシック (JpnI)、かしわ記念 (JpnI)、フェブラリーS (GI)、
- 2013年 兵庫チャンピオンシップ (JpnII)

# メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、フェブラリーSの結果は以下の通りです。  
1位:コパノリッキー (34,015票)



2位 **メイセイオペラ** 26,692票



1999年フェブラリーSの優勝馬。地方競馬所属馬(岩手)として初めて中央競馬のGI競走を制した競走馬である。

3位 **ンコノユメ** 21,377票



2018年の優勝馬。前走の根岸Sをレコード勝ちした勢いそのままに4コーナー13番手から鋭く伸び、3度目の挑戦で本競走初制覇。

4位 **アグネスデジタル** 19,593票



2002年の優勝馬。地方ダート(南部杯)→中央芝(天皇賞(秋))→海外芝(香港C)と、場所・馬場を選ばずGI連勝中だった同馬が中央ダートでも快勝した。

5位 **カネヒキリ** 16,757票



2006年の優勝馬。圧倒的な強さで“砂のディーブインパクト”と呼ばれた。武豊騎手を鞍上に本競走を制し、見事1番人気に応えた。



特設サイト